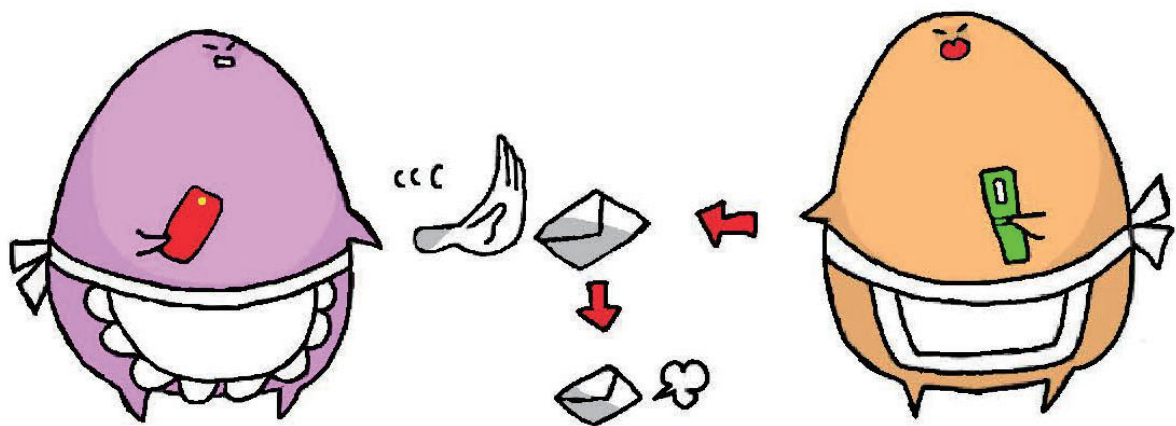


携帯電話と合鍵の罪



前書き。

現在は携帯電話での通話やラインやメールを頻繁に活用して
いて、無いと暮らせない時代になったが、一步間違えればトラブ
ルだけでなく、いろいろな出来事に遭遇してしまう。

親子や夫婦だけでなく、兄妹や親族、従兄弟や従姉妹同士、子
供や孫、甥や姪までも巻き込んでいることに気づいてもらうため
に書きました。

また息子長男以外の息子二男や三男、嫁いだ娘との家の合い鍵
を持ち合っていたりすることは、罪だとは思わない人が多いが、
うつ病や統合失調症、アトピー皮膚炎やゼンソク、登校拒否や非
行、うつ病や引き籠もり、いじめや非行問題、結婚の縁が無い、
子宝に恵まれない、サラ金や借金地獄、不倫や離婚問題だけでな
く、ストーカー行為や犯罪、認知症や徘徊、交通事故や怪我、霊
現象も解決できることが多いことも事実であり、礼節を持って携
帯を使えば便利なものだと思いますので、少しでも気づいてもら
いたいがために書き記します。

No.1、霊現象はお母さんとの電話だよ。(図式入り)

奥さんは長女で再婚して数年経ったある日、突然めまいが起きたのは、弟長男が遅咲きに結婚して間もなくの出来事だった。

毎日のように、偏頭痛から始まり、意味不明の高熱に悩まされていたが、もっと最悪なことが起きた。

二階から降りようとする、誰もいないはずの後ろから突き落とされ転がり落ちて、腰を打つ重症で入院してしまった。

それから松葉杖の生活が続き、不便な日々を過ごすようになってしまったので、霊能者に調べてもらったところ、霊が憑いていると言われたので、何百万円も支払い除霊やご祈祷を試みたが良くなならない挙げ句に、「先祖を祀らないと祟りや因縁が断ち切れない」「費用は数百万円かかります」と言われたのを思いとどまり、別の霊能者の門を叩いたが、余計にヘンな霊を憑けられてしまい、命令されるようになってしまった。

だが簡単な原理だった。

奥さんは、何百キロも離れた母親と毎日携帯で会話やメールの

やり取りをしていたことが原因だと気づいた。

奥さんは不倫相手と再婚し、幸せな日々を過ごしていたが、出会えたのは、元の夫や先妻さんのお陰だとも思わず、元の夫への憎しみを消さず、嫁いでいても心は嫁がず、母親への想いを寄せて毎日携帯電話をしていたことが、先の夫と先妻さんの魂が、「このままでは幸せになれないよ」と気づかせてくれていたのだった。

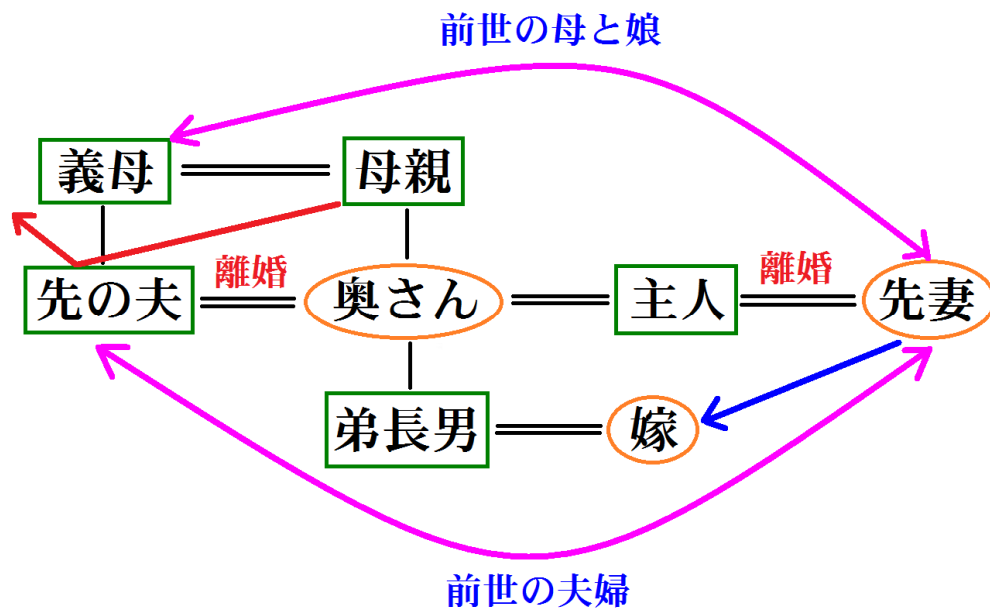
奥さんは同時進行の意味も分かった。

めまいが始まったのは、いつものように母親と携帯で会話中、「息子の嫁はきつくて気に入らないから一緒に住みたくない」と言うので、「それなら別々に住めばいいじゃないの」と言い終わってから、めまいが始まったと気づいた。

階段から突き落とされた時も、母親が弟嫁の悪口を言いたい放題の最中、「そう言えば、元の夫の義母と同じ性格だわね」と言って、携帯でのやり取りをしながら、家事の支度をするために降りようとした直後だったことを思い出した。

奥さんはすべての謎が解けた。

先の夫との離婚問題は、義母との折り合いが悪くなったからである。



だが気づけば簡単な原理だった。

母親と義母は性格が真反対だが同じ魂になり、先の夫といまの夫もまったく違う性格だが同じ魂になる。

もっと分かってきたと言う。

奥さんと先妻さんとは同じ魂だが、人生や生き方が真反対になるばかりか、先妻さんと別れた夫の義母とは、「前世の母と娘」先妻さんと元の夫が、「前世の夫婦」だということも気づいた。

母親が嫌っている弟嫁と先妻さんとも同じ魂だということも分かり、すべてが霊糸で結ばれていることも分かり、一番嫌いな人が前世の人生を教えてくれるために出会った意味も理解してきた。

前世も現世も来世も共に生き、すべてが同時進行で生きていることもようやく分かった。

長女と長男嫁、母親と義母というように、性格が真反対にならないと、前世を知ることが出来ないからだとも分かった。

嫁いだ娘が母親を慕えば慕うほど、義母が定員オーバーではじき出され、母親と同じ魂の夫もはじき出されてしまう。

母親と夫は、「前世の母と息子」を確認するために、魂が結ばれる結魂したのに、気づかないから気づかせてくれるために松葉杖生活。

すべて理解した奥さんは、みずからに、「気づいた自分にありがとう」「ありがとうと言える自分にありがとう」と感謝し、母親への思いを捨て、いっさい携帯電話を掛けないと誓って、実行

してから薄皮をはぐように治ってきた。

No.2、隣とのトラブルは合い鍵と携帯での罪。

若夫婦は土地を買い、家を建て始めた頃から、隣の中年の奥さんが、「騒音がうるさい」「家の前に工事車を置くな」「ゴミが庭に飛んできた」などといちゃもんを付けられたので、若嫁は、「こんな所に住みたくない」「キャンセルしようよ」と主人に言うが、キャンセルも出来ないので悩んでいたが、完成されたので引き渡しをされたが、若嫁は気乗りがしない。

いざ住み始めたなら、隣の奥さんが玄関をノックして、「エアコンの騒音がうるさくて寝るにも寝られない」「犬があんたの家を向いて吠えて近所迷惑をしている」などと、いままで以上に苦情が多くなってきた。

だが簡単な原理だった。

若嫁は携帯を母親と共有して、頻繁にラインやメールのやり取りをしいるばかりか、新築の合い鍵を渡しただけでなく、以前住

んでいたアパートの合鍵まで母親に持たせていた。

だがなかなか信じてもらえなかったが、若嫁がうつ病になり、通院し始めてから若嫁の親は、少しずつだが命の絆の法則を理解し、合鍵を返してもらい携帯でのやり取りをしなくなってから、隣の奥さんから苦情が来なくなり、弟長男は交際していた彼女と結婚するまでには至らなかったが、母と娘の携帯を止めてから結婚する運びになった。

No.3， 妹の電話の後で姉が転んだ意味。

妹から姉の携帯に、「息子が急に亡くなって寂しかったが、娘が結婚することになったので式に出席して下さい！」とのことで、姉は、「嫁いでしまうのね！」と言ったところ、妹は、「私の方は娘一人で婿も息子一人なので、『婿養子に来るならいいが、それ以外はこの結婚は絶対に反対！』と言っていたなら、婿側の親が折れて婿養子に出してもいいと言われたので心配はいらないわ」と返事が返ってきたので、姉は、「良かったわね！ これで家が

絶えないわね。是非、出席させてもらおうわね！」喜んで電話を切った。

その夕方、姉は自転車で買い物に出掛け、その帰り道に転んで複雑骨折し入院し、「結婚式までには治るはずですよ」と主治医から言われていたが、なかなか治らず、結婚式に出席できなかった意味は、跡を継ぐべき長男が亡くなっているにもかかわらず、嫁側の家系を絶えさせないために挙式を挙げれば、婿側を絶えさせてしまう行為が禍の元になる。

この場合、思い方で病の治りが早くなる。

まず、「妹夫婦はわたしと同じ魂の息子の嫁を捨てて、自分たちの都合のいいように老後だけを考えた行動に、わたしの魂が悲しんで挙式に出席できないようにしてくれたことに感謝します。わたしはいますぐ姪を嫁がせることを望みますから、祈りが実るまで妹とは携帯でのやり取りをいっさいしません」と言霊で思いを改めるだけで、足は早く治る意味が分かったので、心の中で祈り続けたところなかなか治らなかった骨折が治ってきた。

No.4、嫁いだ娘とは他人行儀がいい。

何年経っても赤ちゃんが授からないのは、母と娘の縁が強すぎるからだと分かったので、メールやラインや携帯は用がない限り、いっさい掛け合わないと誓い、お互いの合い鍵を返してから赤ちゃんが授かった。

赤ちゃんが、「お母ちゃんとおばあちゃんが仲良いと、わたしの入る隙間が無くなるわ」と教えてくれていたのである。

おばあちゃんとお母ちゃんは、「主人のお陰」「主人の命に出会えてありがとう」と思いを深めることで、夫婦の絆が結ばれ、赤ちゃんが誕生するのである。

No.5、娘二人と共有携帯の罪。

母親は嫁いだ娘二人と共有携帯で、毎日何度も話をしたり、メールやラインのやり取りをしていたりしていたが、二人とも子宝に恵まれず、不妊治療を受けている。

不妊治療のために病院に行く前に実家に寄って今日の報告を

したり、帰りがけに立ち寄って、結果を報告したりしていると、出来る子も出来なくなってしまうばかりか、夫婦の溝もできてしまい病や夫婦喧嘩やトラブルにつながる意味が分かった長女は、一大決心をして行き来をせず、いっさい携帯を掛けないようにし、怒って電話を掛けてくる母親に素っ気ない返事だけにした。

母親に囚われなくなってから、冷え性が治ってきたばかりか、主人の高血圧や不整脈が平常になり、女の子が産まれたのを見届けたのか、妹二女も同じことを実行してから、母親が少しずつ魂の原理を理解し、いままで主人側の姉弟との縁が切れていたが復縁をし始めてから、二女にも男の子が授かった。

親が娘かわいさで近づけば、夫婦の絆が切れてしまう。

どんなにかわいい娘や孫でも、幸せにしてくれるのは、嫁側の親でもなく唯一婿だと気づくことだが、最近はこの意味が分からなくなってしまったようだ。

No.6、先生が不登校…。

高校教諭の男性は、先生同士で些細なことから、上の圧力が原因で、「頭が痛いから休む」「調子がヘンだから遅れて行く」と言いだし、そのうちに学校に出掛ける気がなく、登校拒否に陥ってしまったので、母親は学校側が悪いと思い込んでいたが、母親自身が息子を登校拒否にしていたことが分かり青菜に塩だった。

母親は兄たち二人いて、下に妹が一人いる六人姉弟の三女だが、朝から夕方まで、毎日、何時間も姉妹同士、携帯で会話していたことが原因だった。

主人もあきれ顔で、「それみよ。わしが何度電話しても会話中で、用事があっても何の役にも立たない」と怒ってから、少しずつ時間を減らすように心がけ、掛けるのを数分になり、いっさい冠婚葬祭の連絡以外は、携帯でのやり取りをしないと誓い実行してから、息子が学校に通うようになった。

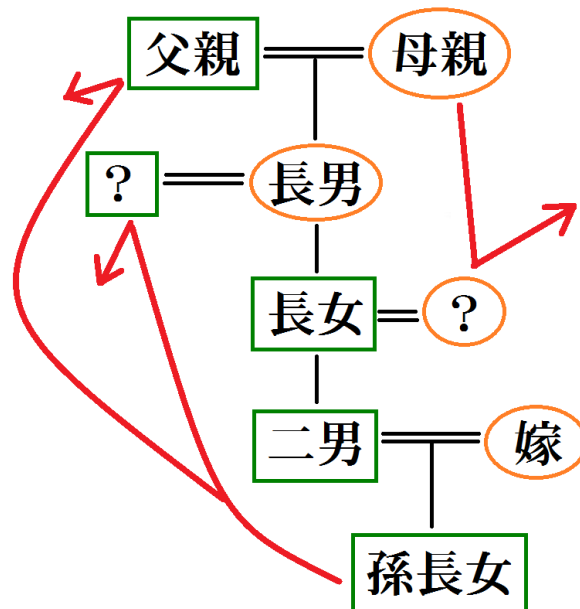
姉弟の立場のない付き合いの結果が登校拒否だけでなく、結婚の縁を無くしたり、突然の病に冒されたり、離婚や不倫問題が起

きたりしている。

No.7、息子二男の孫娘に会いたいための携帯電話。(図式入り)

一向に息子長男も娘長女も結婚する気がないのは、母親は息子二男を近くに住まわせて、毎日二男嫁の携帯に電話して呼びつけて、孫娘をかわいがっていたことが原因だと分かったが、なかなか実行することが出来ないのは、孫娘に会いたいからである。

だが父親が脳梗塞で倒れてしまった原因は、主人と息子二男の孫娘は同じ魂になり、孫娘が近づけば近づくほど、父親が病んでしまう意味が分かったので、泣く泣く呼びつけることをいっさい止めた。



それから主人の病が少しずつ回復をしてきて、息子長男とだけで快気祝いをしてから、先に息子長男に彼女が出来、その後に娘長女に彼氏が出来、それぞれ結婚の縁ができた。

やれやれ。

No. 8、携帯電話は礼節がなくなる。

母親は嫁いだ娘二女に、毎日携帯電話を掛け合い、孫を連れて遊びに出掛けていたが、一切携帯電話を掛けず、孫息子を引き寄せず、婿の親との行き来だけにしてから、息子長男の結婚が決まったばかりか、いままで何年も子宝に恵まれない娘長女に待望の男の子が誕生した。

魂は、「ここ」も「そこ」も「あそこ」も一つになりたいのだが、区別だけではなく差別で物事を判断していると、魂の分離で導くことが出来なくなる。

嫁がせた娘を引き寄せれば、魂が分離してしまい、いろんな出来事に遭遇してしまう。

嫁がせた娘がかわいいから遠ざける。

孫がかわいいから引き寄せない。

孫が幸せになって欲しいから抱かない。

魂は常に見ている。

魂は常に導いている。

No.9、長女にとって兄嫁も友人も我が息子の魂。

兄嫁から義妹に毎日携帯が掛かってくる内容は、「主人があなたの友人と浮気しているみたい」「昨日は会社で夕食を食べてきたからいらない」「出張で三日間出掛けるから」と浮気をしている気配を感じている兄嫁が、「あなたの友人を調べて欲しい」と素行調査を依頼された義妹は、兄嫁の味方に付かなければいけないと思い、友人に携帯で様子伺いをしてみると、推測だが兄と浮気している気配が感じられたので、本当のことを打ち明けてから、息子長男が腎盂炎になってしまい、それどころではなくなった。

兄嫁が毎日実家の母親と携帯やメールをしていることが、兄が

浮気したのだから、その意味も理解せず、兄嫁に味方をしたために、同じ魂の息子が訴えかけていたことが分かり、兄嫁に魂の原理を話して母親との携帯をやめてから、主人の浮気をしなくなり、義妹の息子の腎盂炎が治った。

この場合は腎盂炎という病だが、他にも白血病や不登校、うつ病や引き籠もりだけでなく、いろんな出来事が起きてしまうケースが多いから、あまり夫婦の問題に口出しやお節介を焼かない方が身の安全だと思う。

相談に乗る人ほど、立場と順序を欺いた張本人が多いのも事実。

No.10、母と子の犯せる罪。

母親は嫁いだ娘長女と、毎日携帯電話を掛け合っていたが、礼節を重んじて、婿がいるときに置き電話にかけるようにしてから、娘夫婦の喧嘩が自然に収まった。

これが母親と長女婿は同魂なり。

この問題が多くあり、それでも気がつかなければ、不倫や離婚

問題だけではなく、借金地獄やサラ金問題、子宝に恵まれない姉弟が出来たり、他の子供や孫にも悪影響を及ぼしたりして、つぎから次へと難関に遭遇するようになる。

No.11、立場と順序を無視した行動がもめる元。

家を出て独り暮らしをしている祖母は、息子長男夫婦に内緒で、孫長男と携帯電話で連絡を取り合い、行き来をしていたことを止めてから、孫長男夫婦に待望の男の赤ちゃんが誕生した。

孫長男夫婦に生まれた男の子は、独り暮らしをしている祖母と同じ魂になり、祖母の魂が曾孫に生まれ変わる霊糸を切っていた意味が分かったからである。

祖父母が息子夫婦を無視して孫に優しくしたり、親切に近づけたりすることは、やってはいけない遠交近攻の策であり、その行為が後からいろんな厄介な問題が、降りかかってくるからである。

No.12、孫が隣の駐車場の持ち主との口論はおばあちゃん！

母長女の息子二男が結婚して、アパートに住んでいる祖父母の近くに住んだので、祖母は孫二男と毎日携帯で話しをして会社の帰りに寄らせて、いろんな物をあげたりしていたが、祖父の足腰が弱くなり免許を返納したので、孫息子に、「駐車場に自動車を置いてもいいよ」と言った。

だが、その駐車場はアパート管理会社に返さなければいけないのに、名義を又貸しにした方法だから、孫息子嫁の自動車を置いた途端、隣に駐車している男性と口論になってしまった挙げ句に、祖父が倒れて救急車で運ばれてしまい病名は心筋梗塞。

意味が分かった孫二男夫婦は、まず祖母との携帯で会話をしないようにしたところ、隣の男性とのトラブルが収まり、駐車場名義を返上し、別の駐車場を借りてから、祖父の回復が早くなり退院の日取りが決まった。

No.13、姉妹は前世の夫婦だから…。

姉と妹は毎日のように携帯電話を掛け合い、お互いの主人の愚痴を言い合っていた結果、二人とも離婚してしまったのは、姉妹は、「前世の夫婦」だから、現世の夫婦の縁が切れてしまった。

この問題は非常に多く、これが姉妹の不倫であり浮気になるから、この原因で病になったり、他の姉弟まで離婚や子宝に恵まれなかったり、結婚の縁を無くしたり、サラ金や借金問題や相続争い、交通事故やトラブル、不倫や暴力、ストーカーや非行、家庭内暴力や家出、いじめや不登校、うつ病や統合失調症など、さまざまなことが起きているが、礼節を重んじてから、治ったり良くなったりしているから、始めから深入りをせず、人生儀礼の付き合いだけにし、淡々と付き合う方がお互い身の安全だから、姉妹の付き合いはほどほどに…。

No.14、姉妹は他人の始まり。

二人姉妹は、結婚してからも、毎日携帯電話を掛け合っていた

が、お互い夫婦喧嘩が絶えず、離婚寸前だけでなく、姉妹の子供たちが引きつけや急な発熱、アトピーやゼンソクが多かった原因が分かったので、姉妹は話し合い、携帯やラインを止め、主人が居るときに置き電話にしてから、夫婦仲が良くなったばかりか、子供たちの病も治ってきた。

姉妹の仲が良いことが浮気になり、それが病院やギャンブル、リストラやサラ金と不倫をするようになる。

これは（衣食住足りて礼節を知る）を守り通すことが、お互い夫婦や子供や孫にも悪影響がなくなるはず。

No.15、姉妹の携帯電話は浮気だよ！

姉と妹は毎日のように携帯電話を掛け合っていたことが原因で、姉の息子二男が、仕事をせずブラブラしていると分かり、妹に電話をせず、また掛かってきてもいっさい出ないようにしてから間もなく、息子二男が仕事に行きだした。

フラフラしていた息子は誰の魂かが分かれば、簡単に謎が解け

る。

息子二男の魂は妹と同じ魂だから、妹と息子二男は、「前世の母と息子」になり、姉として息子二男を丁重に育てることが恩返しになるが、妹の魂が姉の心に入り込んでいるから、「前世の母と息子」の絆が切れて、はじき出されてしまったという訳。

No.16、妹が姉に携帯での相談が娘を家庭内暴力にさせていた。

二女は兄夫婦を無視して、姉と毎日携帯電話を掛け合って相談したりしていたことが原因で、主人がうつ病になったばかりか、娘長女を家庭内暴力にさせていたと気づいたので、姉と携帯を止め、兄嫁に会いに行ってから、娘が暴力を振るわなくなったばかりか、主人のうつ病も良くなった。

これは誰かと縁が切れていることを気づかせるための暴力だが、気づかないと結婚の縁を無くしたり、子宝に恵まれなかったり、ストーカー行為を引き寄せたり、アトピーとゼンソク、いじめや不登校、非行や家出問題だけでなく、様々な出来事に遭遇し

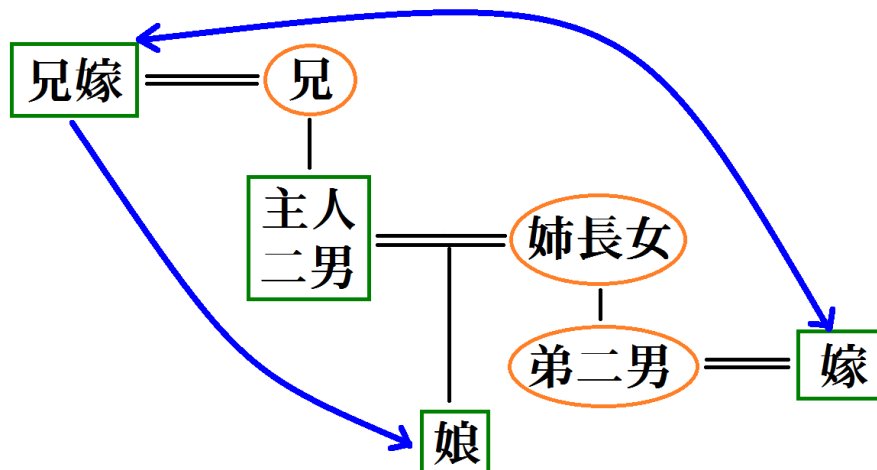
てしまう。

大部分の行為は悪い方に意識を持つことでなく、気づきを教えてくれる行為だと分かれば簡単に謎が解けてくる。

No.17、弟嫁の愚痴は誰かと縁が切れているから。(図式入り)

姉長女の携帯に弟二男嫁から、「主人が浮気をしているみたいだから相談に乗って欲しい」と言われ、長々と話をして夕食の準備をしようとする、二歳にならない娘長女が引きつけを起こす。

その度に、夜間診療所に行って、診察してもらおう羽目になるのは、娘が、「どこかと縁が切れているのじゃあないの」と訴えかけていることに気づき始めた。



主人は二男だから兄嫁と姉長女側の弟嫁が同じ魂になり、兄夫婦との縁が薄いから、「兄夫婦と交流をすると主人の浮気問題が解決するわよ」と気づかせてくれるためだと分かった。

相談は二の次にして携帯に出るのを止め、義兄夫婦への思いを深め行き来を深めるようになってから、弟嫁から相談を受けなくなり、娘が引きつけを起こさなくなった。

No.18、嫁いだ娘の物を残さず。

長男の家に嫁いだ娘の衣類や家具類、アルバムや小物類などを、いつでも帰って来てもいいように置いたままだったが、いっさい物を残さないようにして片づけ、毎日携帯電話で、母と娘が掛け合っていたのも止めてから、何回も不妊治療をしても出来なかったが、身ごもることができ無事に孫長男が誕生した。

No.19、伯母と姪は他人行儀が一番。

伯母と姪は近いこともあるが、毎日のように行き来や携帯電話

で世間話をしていたり、年に何度か家族ぐるみで旅行に行っていたりしていた。

だが姪夫婦には子供が出来ず、伯母夫婦の娘は、適齢期を過ぎても結婚の縁がない。

それを伯母と姪夫婦が一線を置き、携帯で話をせず、他人行儀にし、伯母は両方の本家と縁を切って、他の姉妹家族とだけ行き来をしていたことを詫び、本家と行き来をしてから、伯母の娘の結婚が決まり、姪夫婦に女の子が誕生した。

No.20、霊現象は祟り因縁ではない。

姉が離婚して独り身で寂しいので、毎日、新婚の妹の携帯に電話を掛けてくるので、優しい妹は姉のアパートに出かけて、暇つぶしをしていたが、日増しに霊現象やラップ現象がひどくなり、ノイローゼ気味だったが、いっさい姉から掛かってくる携帯や家の電話に出ることを止め、いままでのことを主人に詫びてから霊現象が治まった。

離婚した姉婿と二女は同じ魂になり、姉は、「コーヒーが嫌いだから、紅茶を選んだ」と同じ行為をしていた。

それを人間界に当てはめると、「主人が嫌いだから妹を選んだ」に解釈できるから、実際には妹は姉から嫌われていたことになる。

「あの人のお陰であなたに出会えた」と言うならいいが、大半の人は、「何々が嫌いだから、何々を選んだ」という意識で物事を計っているから、なかなか幸せになれないのが現実ではないのか…。

後書き。

これ以外でも携帯電話の罪はあるが、〔心が変われば態度が変わる、態度が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる〕と言われていて、少しでも気づき改善されれば、いろんな悪い出来事が消滅するので、是非、実行してみてください。